



腹紀参疏
全

73
6231



72
6231

元文をしののこし孫志令増補去五味均平蔵

あまきよくむす施し初め母の以常子先地難治し
宗族の親疎をこしめしめり子と一その系
義の疑しきありんば何れかめ執法の家子
尚あすこめよ常母是か意し時子孫之喪孫
をこし一人紀をあやまれしと別りきとかなれ
あひりけ諸侯大夫士れ家より年々月々
に振属の上下旁殺殺しき事ともか執法家
小回管せりこと今よおめてるゆり事れし



今茲親母の憂後申 家君の庭訓母
志しうしらの執法家乃のきしうみ解し詳
断めしる承の教十百夏算し志しうい
まうせ和きとらし文子後忌令原文係し
杯この後忌令也 公の事あらはれし
不とさ日さふ何しんされをいし
まし日恙く舊時のまをとりし孫の
後忌令なり解しや日く誤談せし
永く 國家乃の執法令を奉し家學の

淵源として彝倫を法しし首令を保く
多めなりといふ天明五年乙巳夏秋朔日

成嶋仙義輝雅

凡例

一 遺孤相続之律よりして養子の律よりて
こゝろく養父母の徳下にあはめり

一 胎忘令子庶母といふ名目別腹に出されども
庶子此律あまされぬをその名目も設けり
其外胎忘令子ハ伯叔父姉兄弟姉妹も
父方母方と斗ふも今考據子易かん
ため子若方実方といふも志存せり

一 女子ハ胎忘令子別子名目おされぬ末子也



并せ志海せり 後身 後身 遠も是に何一

一 養女之名同服忌令子 女子 志海せり 志海す

一 軍忌改葬ふハ悉く 養尾にあつめせり

一 親者まの考 掠せんと 志海ハ同福を以て 名との係 親をハ 志海す

一 父母

九歳子あつり 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す

一 養母

志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す 志海す

一 嫡母

一 繼母

一 離別母

離別母 志海す

一 庶母

一 夫

一 妻

一 嫡子

一 末子

女子附く

一 養子

養女附く

一 夫之父母

一 祖父母

父方母方実方

一 妾

一 曾祖父母

父方母方 養方実方

一 高祖父母

父方母方 養方実方

- 一伯叔文姑 父方母方
- 一实方伯叔文姑
- 一实方兄弟姊妹
- 一嫡孫
- 一曾孫玄孫
- 一甥姪
- 一養方伯叔文姑
- 一兄弟姊妹 養方
- 一兄弟姊妹
- 一末孫 外孫附之
- 一後父兄弟
- 一名例

服紀参疏

○父母 忌五十日 服十三月 国月とかがん

○養父母 忌三十日 服百五日

送跡お續或分地所南之養子ハ実父母のそし同姓也
 異姓也とも養方之親類実のふとくお生は後忌の受之
 実方の親類ハ父母宜式に後忌ニ受之祖父母伯叔文姑を
 半減之後忌の受之兄弟姊妹ハ相互に半減之後忌
 之受之此外の親類を後忌受之送跡お續其或ハ
 分地配南等係養子ハ同姓之そし異姓之そし養父母ハ

宣式之通後忌之日は、養方之兄弟姉妹は、お母さま
此後忌之日は、以外の親類後忌は、実方乃親類の
宣式之通りお母さま、後忌之日は、

子母之死去は、名跡お継の、お新親、お智お継、
時を養父の、お後忌之日は、死去は、妻は、お母さま可
准之死去は、お七早未満より、後忌之日は、お十日
お志意は、死去は、お親類は、お母に宣式後忌之日は、実
方之親類は、父母を宣式の後忌之日は、祖父母伯叔父姑は、
お減之後忌之日は、兄弟姉妹は、お母にお減之後忌

お母さま以外の親類後忌之日は、

^{追加}養子預書は、お中法は、其以後は、死去は、お智

不定の内は、お養父母は、お十日十二月は、後忌之日は、

^{追加}父は、養子より、お生子人、お養子に、お母は、お母は、お兄弟

養実とも、お減の後忌之日は、或は、父は、お養子より、お生子

時にお父は、お実方後忌之日は、お実方にお減之後忌

お実方にお減之後忌之日は、

^{追加}名字を授け、お母は、お後忌之日は、お母の方にお親類

宣式之通り後忌之日は、

○富田主権の事合

父養子と云は子人の養子と云ふ事なり時ハ一後忌と云ふこと此處に於て
父養子と云は子実子と云ふ人の養子と云ふ事なり時ハ父の父母兄弟姉妹と云ふ
事養子に事なりゆもの事あり父母伯叔父母で只存三月は養子に於て忌
法中候とお心得可なり

○養書面を通す

或ハ父も養子も身も養子の時ハ養父の實方後忌と云ふこと此處に於て
養子に事なりゆもの事あり養父も養子由一右養父の實方忌後忌と云ふ
候とお心得可なり

○養書面を通す

○好理河内守の事合 使者渡邊官(養)

河内守三男 中坊九郎
安養養書三男 中坊九郎
格元因坊吉孫 大保書為次男方
大保書為次男 中坊次郎

安養若様と申方ハ大保書為次男先因坊吉孫之子なり此處に於て所養ハ
河内守孫とお云ふ中坊九郎は去年此處に於て後忌令三を養子と云ふ事なり此處に於て
養父實方後忌と云ふ事なり此處に於て河内守孫とお云ふ事なり此處に於て
中坊九郎は去年此處に於て後忌令三を養子と云ふ事なり此處に於て二月四日

○福徳日向の事合

養子就書此處先中法在りて其後忌と云ふ事なり此處に於て家督不定内
養父母斗又十日十三ヶ月に後忌と云ふ事なり

右通二ハ此處に於て養父母斗に後忌有る事なり此處に於て親親後忌と云ふ事なり
お云ふ中坊九郎は去年此處に於て後忌令三を養子と云ふ事なり此處に於て
忌後と云ふ事なり此處に於てお云ふ事なり此處に於て親親後忌と云ふ事なり
忌後と云ふ事なり此處に於てお云ふ事なり此處に於て親親後忌と云ふ事なり

附録目不弘 作付内実方ハ伯父有る事なり此處に於て通忌後忌と云ふ事なり
日教不立内書父法目弘 作付内実方ハ半藏後忌と云ふ事なり此處に於て
休日ハ内十日も色ゆり跡十日と云ふ事なり此處に於て并様成り

○若一右若方之親親若果馬之日為之内家督相定也若日教
定式之通也

一実方之親親之忘中_{不及}若其内家督定也若日教若忘
不及也

但実方并生滅之縁忘之也_{分斗}若其内家督定也若日教若忘
分斗也

○日人々
各字也按斗_{分斗}若其内家督定也若日教若忘

若其内家督定也若日教若忘

○言子分と稱一各字を授ゆ分_{分斗}若其内家督定也若日教若忘

○伊豆守殿に上り書付_{奉書面} 若本根肥後守松平之馬 松平定直

三月五日

父も若子も身も若子も耐若父も実方若忘也不中_{分斗}若其内家督定也若日教若忘
若其内家督定也若日教若忘

○出方河内守少合
子若_{分斗}若其内家督定也若日教若忘

若其内家督定也若日教若忘

○松平大膳右丈少合
若其内家督定也若日教若忘

若其内家督定也若日教若忘

彼より嫡母に准し被對面不中より後忌更中百爰に被通途の
被對面不中より十日服三十日の後忌更中但嫡母に准り
貴父の妻に親類に後忌更中不中心得るべき在り

○昔書面存志貴子より志貴父方引被中前後之差別
しと書し親類に御半貴子と定の上妻父の妻死去は母
定式に服忌より貴子に定式に不父の妻死去より親類に
服忌はしと中書す

○日人少合 二月十六日

嫡母と中より妾服に次男の唱に存中心得るべき在り
此存中より中上中書す

○昔書面存志貴子より志貴父方引被中前後之差別
しと書し親類に御半貴子と定の上妻父の妻死去は母
定式に服忌より貴子に定式に不父の妻死去より親類に
服忌はしと中書す

○井仔仔世守服忌に代為付上中書付
松平下徳守高服忌子
下徳守本妻死去
井仔仔世守

○家督相續し養子より者実方貴母より嫡母より継母ても
後忌更中

○奥平大膳太史少合

本妻死去以後妾服出はし子ありて後妻去の時を出はし子
本妻に親類服忌有し中書

○答 本妻死去以後妾服忌子出はし子のあふ父に
亡妻存命より嫡母より親類服忌去て後妻
に中書子抱り不中書

○丹羽大左太史少合

嫡母の子継母に後忌更中ありて父の極次身右に甲但継母方
に親類より服忌更中
は既嫡母の子継母に不貴母に極次大左貴母に十日十三日
後忌更中より貴母に親類に服忌更中より後代に在り

○言書而之通ニル

○松平河内守少将

実父が妻より養服の子の、免実父の妻より嫡母と云ふ事
○父の妻より嫡母と云ふ

○松平肥後守少将

嫡母の子継母の服忌はあつても父の極身右同一但継母方
の親類はハ服忌せず

亦この継母の服忌は十月三月更に例よりし得るは及父の極身
右実母の如く後忌法但父の継母の親類ハ服忌せず
中後ニル

○言本文の嫡母の子継母の後忌はあつても父の極身右同一
と有しハ若く嫡母の子継母の言子ニ成りしよりハ但継母の
親類ハ後忌せずハ嫡母の子継母の言子ニ成りしより
嫡母ハ実母の如く後忌法但父の継母方の親類ハ後忌せず

一。吉田元長娘
松平六右衛門嫡母

右兵衛右衛門の長女長服忌有るは及父の極身右同一
承合ニル

一。養父
一。実父
一。嫡母

伊後守仙
吉田元長十
浪人 九鬼女中言子言女

右実方の嫡母も忌後云は有る

○言書而之通も後忌云

○水野要人承合 山本信後守

一 孝子孫誠心後其父母者ありて其母後離るれば其母忌後
一 意を以ておのれに離別其母忌後相習ふ事あり

○ 昔書面通し服忌あり

○ 可條其母入へ

水谷但馬守

一 其身其子も其母も其家も其女も其母実方親類其父も
実方三推し服忌あり其母も実父母も母方祖父母も減
法忌更中より出合中より出合

○ 昔書面通し其身其子も其母も其家其女も其父も
其子其身も其子も其家も其女も其母も其父も其母も
其母も其父も其母も其家も其女も其母も其父も其母も
其母も其父も其母も其家も其女も其母も其父も其母も

○ 継父母 忌十日 服三十日

初より同居せしめられし其後其父死去後継母他
嫁し或父離別を以ておのれに不一其後忌但継父母
に親類小の服忌あり

父^退後妻と再嫁ししより將面ありとも継母の^忌後忌
嫡母の子継母の後忌もおわても父の極限あり

嫡母の子継母の^忌後忌も父の定する時ハ其母斗おり三月
忌後其法其母方親類其後忌あり其母の條下に詳し

○ 新店越中身少合
嫡母の子継母を其母と定時ハ其母の後忌父の極限あり但継母方

親族後忌等と心はる

○卷書面通

庶母の條下に詳

○土方河内守少合

父の後妻と母通ししゆり對面等と有繼母の後忌之文し
はケ條立形等後出生ゆあ後の子男女不限父の妻後記云の後
又後妻姑ゆ貴方、妻後、子改通流り、較對面云ゆ繼母、
後忌十日後二十日、父、後妻と後通流り、後忌
云ゆ心はる

○普去面通、但妻後、子、お浪先妻、子、
同書、ゆ、元男女、心、法、
初より日、七、ゆ、法、後、忌、
知、ゆ、普、育、を、交、ゆ、り、上、母、推、
後、忌、父、云、ゆ、哉

○松平大膳大守少合 一 継父母 忌十日 服二十日

但父母親族後忌云し

○卷知少少普育をうけゆとも普子とふ受時、後忌云し

○丹羽左京大夫少合

父の後妻と母通ししゆり對面云し有継母の後忌之文し
はケ條、嫡母の子、後の子、父、後妻と母通ししゆり對面云し大
繼母の後忌、父、云、ゆ、り、法、知、継、母、の、心、を、條、初、より、日、七、ゆ、れ、
法、後、忌、と、ゆ、れ、ゆ、先、二、日、合、ゆ、ゆ、れ、
法、後、妻、と、繼、母、と、心、は、る、
法、後、妻、と、
今、度、は、作、出、ゆ、初、の、繼、母、云、に、初、より、日、七、不、仕、ゆ、後、忌、
法、後、妻、と、母、通、し、ゆ、後、父、云、ゆ、不、仕、ゆ、後、通、流、ゆ、り、
繼、母、の、後、忌、之、後、の、心、は、る、法、後、改、ゆ、法、ゆ、
○卷父の後妻、劉繼母、云、ゆ、本、文、云、初、より、日、七、
斗、を、滿、ゆ、せ、ゆ、ゆ、海、ゆ、ゆ、後、ゆ、後、忌、云、ゆ、
通、加、に、云、事、を、記、さ、れ、ゆ、た、と、對、面、云、
後、忌、之、後、の、心、は、る

○松平河内守少合

父の妻を去對面と云ふは後妻ありては元々継母とて申すは継母と申す
に其母と申すは元々別居ありては元々其妻ありては元々其母と申す

○養父の後妻、継母と申すは對面と云ふは元々継母の子とて其父
後妻をてその子の養母と極ゆるは元々其母と申すは元々其父
後子の養母と申すは元々其母と申すは元々其父の先妻と申す

○松平紀後守少令

父の後妻と改題取ゆり對面と云ふは元々継母の後子とて其父
父の後妻と申すは元々其母の子に對しは元々其母と申すは元々其父
遺跡を後分地取當と云ふは元々其母と申すは元々其父の先妻と申す

○養書面と通し

○離別之母

貞五十日

服十三日

閏月を除

○酒井信濃守少令 使者野尻十日

離別の母方親類も忌後後取申すは元々其母と申すは元々其父

○養離分之母方親類後忌法別定式と申す

正月十七日

○松平肥後守少令

離別の母の親類并離分は元々其母と申すは元々其父の先妻と申す

○養母離分は元々其母の養母と申すは元々其父の先妻と申すは元々其母
後忌後取申すは元々其母と申すは元々其父の先妻と申す

追加

○庶母

妾服子其父嫡母继母を以て養母に之の時ハ忌み十日
服十二月一信之母方ハ親類に後忌み其家督
お務め正子の如く多し一嫡母之子继母の後忌み
おめりも父乃極次男存同一但继母方ハ親類に後忌
み

○松平正俊後妻忌後少令^本後以下礼及挨拶見

元文元年後忌令^本増補^本妾後子
親類に後忌み
年久妻以前妾を妻に^本し^本意^本後別^本妾後^本子^本之^本由^本大^本連^本也
中妻也^本妾母^本定^本中^本由^本是^本以^本右^本之^本文^本之^本准^本其^本母^本忌^本後^本忌^本之^本也
正俊事

○書面に通て妻を養子致し由多分用い旨享保十八年江 仰出由
以家内届相済音を中妻にお極メ其後外に高後し子お生右志し由
中妻を以て養母と父定む由候も同書一通中文し文云三推し由

○永井揚磨守少少合 使表 小川千代史

妾こ子生し後他に嫁し由元其子実母の如く定式し忌後お返しく由
其外祖父母御親類に忌後由存候由

○若喜あこ子お生し後他に嫁し由元定式し後忌を由其高方親類
に依り其子の親類書子書出由程し縁者おありハ母方妻妾に
其別ハ其し由中女言由候も其親類後忌書し由

○富田主膳 少

妾後し子元父嫡母継母を以て其母定む時忌を十日後十三月二日其母を
右若母を其母の如くお心得存候由

母方し親類後忌書出候も其別家督お継ぎ其子の如く大に其子
由存候由

養母方と定式し後忌書出候も其心得存候由

○書面に通し由

嫡母こ子継母し後忌おありと父の極大尊ぶ由同一と由存候由
継母を父若母不定由候も其実母の如く定式し後忌書出候由
お心得存候由但継母方し親類を其後忌書と由存候由継母
を父若母不定由候も其実母の如く定式し後忌書出候由其母方し
後忌書を父親類に後忌ハ後不申候も其心得存候由

○若くは継母方し親類より後忌書し候も其心得存候由
子の如く継母を以て其母を定む時其母に其高後し子元父
嫡母継母を以て其母を定む時其母に其高後し子元父

○新庄越中守少少合 使表 園崎 少

妾腹こ子元嫡母継母を以て其母に定む時其母に其高後し子元父
母方親類に後忌書出候も其別家督相済し其子の如く定む時
子元継母に後忌おありと父の極大尊ぶ由但継母に親類を其後忌書し
妾後し子嫡母継母を以て其母を定む時其母に其高後し子元父

中外公にお心持申す

○答書届し通二叶

○松平甲斐守の少令 使上射在事 二月

妻の子御少令本妻若育致し申上子に致し他家へ若子若令申
志右し本妻より後忌書母に格二申上申す

○答書届し通し紙本妻の子に致し申上他家へ若令申

分北郡南へ若母より申上り後忌書申上申上督お後分北郡南
へ若母より申上り後忌書申上申上

○土方河内守の少令

父の妻後忌書し 此を糸父の妻致致書し父の妻より
男女より後忌書申上り申上り若母お生仕申上り男女若母
れめ後忌書申上り心持致致申上り

○答書届し通し勿論二叶

○土方河内守の少令

高服の子に父嫡母後母一 後母方へ親類は後忌書し

○一言是は嫡母後母を以高服の子に若母より申上り
若母より申上り月後忌書し申上り若母方へ親類は
通後忌書し申上り若母方へ親類は通後忌書し
申上り親類は申上り申上り

一曰嫡母の子後母に後忌書申上り申上り申上り申上り
申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り
申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り
申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り

○日人

若母へ若親若 親類後忌書申上り申上り申上り申上り

○若母若母より申上り親類若母に書載申上り申上り申上り申上り
親類は後忌書申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り

○水戸殿河城竹屋少合

新加中一條高経の子元父嫡母徳母と定母と定母の時、志之十
辰十三月、父高経の旨ありしに、継母と定母と定母の時、幼少なり
高経と定母の嫡母徳母、中時、高母口許し、志後、其の儀、
若又高経の旨ありし、定母の如く、思深く、
肉々、嫡母徳母と定母の旨、其の儀、

○普書而之通、高経の旨ありし、
父高母と定母の時、
嫡母徳母と定母の時、

○奥平大膳方史少合

本妻死後、高経が生るる子、
親高経の旨ありし、
何れも、
掃部頭高経の旨ありし、
父高母と定母の時、
右、
後妻の旨ありし、

○普書而之通、高経の旨ありし、
高母と定母の時、
嫡母徳母と定母の時、
有、

○丹羽左京方史少合

高経の子、父嫡母徳母と定母と定母の時、
母方親高経の旨ありし、
父高母と定母の時、
実母但高経の旨ありし、

○普書而之通、

○松平下総守少合

嫡母と定母の時、
父高母と定母の時、
但嫡母と定母の時、
高母と定母の時、
父高母と定母の時、
継母と定母の時、

後忘之考し中

右通達抄に付る事の時辰月

功本根記後言松前之緒
源氏真人

○松平 河内守少合

子出生し高し親見覺其外忌擲し親親死去し耐右子も若
服忌め何 又下し中

○言子出生し妾筋目し不知其家女あり書出れ終り又下し中

其親親し後忘不中筋目し耐し親親書出れ書裁中終り
又下し中

○日人少合 使老飯田源助 又月

子出生し妾父服忌中係り女死去し耐し子も若離別し母元中
言後忘不中妾父も実母も言後忘不中又下し中
高し親親見覺姉妹たすも死去し耐し右子も若し後忘め何
又下し中

○言子出生し高し父服忌中其女死去し耐し子も若し又忘不
服忌め何し高し親親見覺姉妹たすも又下し中

○松平肥後守少合

妾し子も高し父母見覺不後忘不し但高忘不中又下し中

○言子高し筋目し不知其家女あり書出れ終り又下し中
其後忘不中筋目し耐し親親書出れ書裁中終り又下し中
其親親後忘不中

○日

先事高し妾し高し類し高し母見覺不又下し中

○言妾高し妾し高し事後忘不中又下し中

○水野要人 少合 河内仙壽院

実母幸りて其身若生後右高し病身も外 忌始先方元右高
病死し高し実母見覺し後忘不中

○言下札書面し通実母見覺し後忘不中

○ 夫

夫 忌三十日

服十二月 正月忌除

^{悪加} 婚儀未相調内也也 祓儀之儀ありしは 但後之

○ 出方河内也也 安合

○ 右女文通心行在也

書面通也

○ 嫡子

嫡子

忌二十日

服九十日

家督と定む時を末子に後忌て更し女子は家初生れ
末子に准也

^{追加} 嫡子を人の出た子にきす時ハ後忌末子のこゝ多し
義絶し嫡子に後忌を末子に准し此亦親類義絶に
よると後忌別義なり

○ 留田主 膳 合

嫡子を人の出た子にきす時ハ後忌末子のこゝ多し
嫡子ゆゑも出た子にきす時ハ末子に准し馬十日後二十日後忌を
お心は在り

○普書初之通也

○去方河内中かゆ丸

後絶之嫡子之後忌を末子に推して初親終絶ふも
後忌去別也

此条嫡子病卒と云ふ心不付家督在終に於て親に付き在而
老しむる次の子を嫡子に頼り上嫡子お互に後初し嫡子
致死去ゆりて末子に推して忌十日後三十日又て中其初し是身
姉妹を初伯叔父姉弟等と云ふ父後絶に於て中其末子後忌
に別るべく定式に通て中其後絶嫡子と中其を右に通て
心付る也

○普書初之義と嫡子を後絶ししゆる末子の後忌を後

二男三男を始と初し親終絶ししゆる末子の後忌を後
忌別言しと中其但嫡子病卒を家督不相成言し後忌を
義と中其嫡子之後忌と云ふ相傳ゆ義絶嫡子とハ初
めしゆる父後絶ししゆる也

○末子 附女子

末子 忌十日 版三十日

養子を初しを後忌を父あり家督と定めて嫡
子之版忌可也

女子ハ宮初子生るも末子に推す

○杉浦出雲守中合 二月廿号

娘出生し妻が離縁を言ふ方は引取右に娘病死し其
離縁に父は後忌しと云ふ事有夜存也

○普書離別之娘留方は引取ゆるも右に死す言ふ定式
に通後忌也

○ 養子 養女

養子

忌十日

服三十日

家督と定む時ハ嫡子ノ後忌つマシ

女子婚儀以前より養ひ進或入聲を取家督お續け時ハ此方

親類家のみくおまは後忌
マシ

○ 新庄藏形白承丸 白須甲斐子

一養女

実父私実兄是村松島

養女
実姪

右養女後忌出所合中

○ 養書通法定式後忌

○ 水冊要人白承合 是於河内

一養女

貴女被化は嫁中にて貴方定式通後忌後、実方親類定式
半減、後忌三日也

○普書面通三日也

○松平大膳方定式合

一養女

女子婚後、實方貴方定式入聲、名家督お續、時、貴方親類
実、（中略）お生、後忌三日也

右、通相又、（中略）婚後、實方貴方定式、嫁中、娘、名家督お續
貴女、口例、（中略）お生、後忌三日也、（中略）後忌、（中略）三日也

○普書面通三日也
貴方親類、（中略）入聲、（中略）名家督お續、（中略）同日例、（中略）入
聲、（中略）三日也、（中略）三日也、（中略）三日也、（中略）三日也

○丹羽左衛門定式合

此省裏にケ余中

一養女

婚後、（中略）貴女、（中略）定式、（中略）後忌、（中略）貴方、（中略）兄弟
姉妹、（中略）半減、（中略）後忌、（中略）三日也、（中略）三日也、（中略）三日也

付、（中略）文、（中略）版、（中略）省、（中略）裏、（中略）通、（中略）後忌、（中略）三日也、（中略）三日也、（中略）三日也

一婚後、（中略）貴女、（中略）仕、（中略）貴方、（中略）定式、（中略）後忌、（中略）三日也、（中略）三日也、（中略）三日也

○普書面通三日也

是ハ新杯ト申一通り前ヨリ結忌ハ言シテ子ハ嫁後忌
 出ルヨリ拜喜子ニ嫁中儀又化一様付ルル也此方親類トモ定
 式ニ通シテ娘也喜子ハ通言入聲モ不付ルル也服忌
 令中文初々条ニ有シテ三十日百有十日喜子ニ後忌ヨリ
 但年久後此法ヨリ喜子年不ハヨリ喜子ハ一ヨリ也
 喜子ハ各々ヨリ右ノ如ク入聲モ此嫁中儀又化一様付
 中儀モ家督相續シ喜子ニ通リニ也

○ 夫之父母

夫之父母 忌三十日 服百六十日

○ 内及親類等皆合九月

家督相續シ喜子ニ嫁中儀之妻也夫之実母ニ忌後更不ヤル也

○ 普書而通忌後更不ヤル

夫之喜服ノ子ヨリ此中妻ノ喜子ハ成中儀者ニ妻夫之実母ニ
 忌後更不ヤル也

○ 普書而通忌後更不ヤル

○ 祖父母

祖父母

忌二十日

服百六十日

母方

忌二十日

服九十日

離別せしむるは祖母を後忌すべし

○ 富田主簿の合

父若子にては子人の若くは系は時祖父母若くは後忌す

○ 日人合

父母系下三詳

生滅は後忌は祖父母伯叔父姑兄弟姉妹と云ふは母方祖父母伯叔父姑兄弟姉妹も同例とは存し父母方の兄弟姉妹は存す

○ 普書面を通す

○松平大膳右史少合

此父若子言実子致出生て実子家督継得ハ父ノ実方祖母
伯叔父姑半減ノ後忘ラシムルモ但父実方流身ノ後忘ルル

○若父若子言て実子家督成ルモ其方母父ノ実方半
減後忌方ノ書面ニ通シテ書面ニ有ルモ流身ノ父ノ実方流身
成ルモ其方後忘ル

○水戸殿内城付少合

父若子言家督を継身又父の家督を継ゆ若父ノ実父死書面言
身ノ服忘ルル父中ノ但後忘ルル中ノ後忘ルル令書子集方
祖母亦ノ服忘ルル父見ノ中ノ若子言て忌後ノ父相見ノ不ヤル
若後新加後若ノ相見ノ不ヤル

○若書面ノ通シて実祖父半減ノ後忘ルル也存

○丹羽左京右史少合

半減ノ後忌祖母伯叔父姑兄弟姉妹とありて母方祖母伯叔父姑
又父兄弟姉妹ノ同例
此原若母ノ後忘ルル中ノ若母方ノ若別若見ノ不ヤル
若母方ノ若父方ノ若母方ノ後忘ルル心付ヨリ

○若書面ノ通シ

○堀長門守少合

私母方ノ祖母若母言て病言ハ外祖叔母時色若母任母高後言
此方ノ祖父長ノ若妻若娘ニ任ルモ右後忌半減方ノ通シテ

忌十日 七月廿八日 月廿九日
服忌十日 七月廿九日 九月六日

右庄田以使者甲上作上

七月廿日

堀長門守

覚

祖父長門守

右奥方輕之在任之役高之改申勅目云之者之在任以上

七月廿日

覚

右長門守母祖父長門守奥方昔娘任在任以上

七月廿日

右長門守母之実母祖父長門守高之右長門守之元前之役高之
堀長門守母方之祖母高娘書付其出之長門守母之実母之由之件
祖母長門守妻之有之之出高之成之法之由之台相存之其高之
成之法別紙書付其出之件高之成之法之由之台相存之其高之
成之法別紙書付其出之件高之成之法之由之台相存之其高之

右之通記後高娘抄

○秋田伝流高之少令

使者岡山源吾

秋田八右衛門後妻

石川無庵後時

松平能登守家系中

山下右衛門高娘自性院之元出在任

秋田八右衛門後妻自性院 秋田傳入
秋田傳入 秋田傳入
秋田傳入 秋田傳入
秋田傳入 秋田傳入

右自性院八右衛門之役目之妻傳入其母之核主水、祖母之核
八右衛門之傳入其母之役目之妻傳入其母之核主水、祖母之核
其母方祖母後高娘高娘書付其出之件高之成之法之由之台相存之其高之
自性院後高娘高娘書付其出之件高之成之法之由之台相存之其高之

○茶之五初之在任方之役服忌令之云之事之忌後之在任不及
書面之通之右傳流高之少令之在任方之役服忌令之云之事之忌後之在任不及
相互之忌令之

後高娘

○安後夫之部 少合

養父方
養親祖母

朝倉六之助死妹

右書院祖母七忌後書之部 伯叔親死去以後付書院祖母書育也
後子生而二付土子之忌之部 一為其母生也

○書院祖母之部 中書院之部 書院祖母之部 中書院之部
忌後之部 但父傳母之部 成中書院祖母之部 忌後之部

○又 養母方
書院祖母

船目之部
家女

右私書院子出生後中書院祖母之部 書院子に成中書院祖母之部
中書院方書院祖母之部 通忌後之部 中書院
○書院之通之部 忌後之部

○松平親後書院之部

元禄後之部
遺跡相續之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部
兄弟姉妹之相互忌後之部 忌後之部
○書院之通之部
忌後之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部

○刑部御様也 山下左門少合

一母 刑部御様也 山下左門少合

母之部 書院方

一祖父 書院方 鳴津山城守

實父方 實父方 渡辺甚之部

右甚之部 渡辺甚之部 實父方 實父方 實父方 實父方
忌後之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部 忌後之部

出有先右通友親後子成作

○首書面通七母方之出親父成或之後志也

一祖母

二无正面首在末知作 津鹿市亦會備 死娘

私母之甚多致其私父首方之方縁付中比身祖母實父叔父
妹之縁云日有先右通友祖母之後志也成作

○谷右口家

母之親方

一祖母

小田源右左衛門娘

右祖母之甚多致其私父首方之方縁付中比身祖母實方之方

○首書面通母之宗母半減後志也

一表向親母名目之右出生之子在七母唱來り世有右家女出生之娘也

舞首子致以首婚儀也通有之右家女之母死去之首太舞首子
母方之祖母之心行也忌後志也父之方有之左也

○首書面通七母之唱來り之左後妻不在教中得て養
母之不在教中後志也付家女之母服忌之左法之不及也

河津右十郎首

一太舞首子不在教中首其父之本妻有之出外先年致其其後
致之右家女之左也後志也本妻右首子一向不在教中

○
實母方祖母 宝曆十辰年二月廿九天飛示左右心掛承九下札通中來作
因極苦教十連之度減之後志也中作 大屋遠江守首

去其目後志也死
實父山名保豆首

其目主後
實父永田源右馬首

永田源右馬首 死 首娘

永具用防也 死 娘

○實母方

一實母

實母實方

一祖母

右祖母及病死之日之殿後忌之儀也合中即書面通家每多孝在娘
身成之殿後之孝子之成也

○若下札書面通也 凡身他處者請之孝子於誠也實方
祖母半減之儀也二百中 二月十日

祖母 山本伊織

一母 若為離別之日方祖母之儀也後定式通之也
○若下札書面通也 母若為離別之日方祖母定式後也

實方祖母 一亦皆若後也孝子實方祖母定式之儀也二百中

○若下札書面通也 殿督若後也孝子實方祖母定式後也
八月十日

實方祖母 甘目九京

實母實方 祖母

右後忌之儀也合中

○若下札書面通也 母方祖母半減之儀也二百中

一母 新見七郎

右祖母 亦合

一也領 新見左門

右折也其每時在門後之儀也合中

○若下札書面通也 祖母之儀也其每時在門後之儀也二百中

○新庄織部 亦合 丹羽澄庵

實父實方祖母私化家之孝子系中右祖母後之儀也二百中

○若下札書面通也 孝子之儀也其每時在門後之儀也二百中
付祖母之儀也二百中

○新庄織部公承九 子羽澄後守

私実父実祖母

右指忘之儀少減流中多三此在也

○言下札書面一通

承合

能者弁意

一養母方之祖父

私養母方流香傳方出此類之設私養父丹後守に贈姻相替中太傳意
相果中位を養母方祖父之忌廿日九十日流中中

○言書面一通

○井上累書流承合 依理多庫改

一父之実方祖母

父出子之由実方実母家女之右之子祖母之後成也

○言書面一通 父実方祖母承合也 少減之後忌之由

一養父之母

家女

右に少減祖母言て有ては養方祖母言て後忌之也

○言書面一通 養父之母 養方祖母後忌不及所由

○ 妾

妾を服忌之云、但子が生におりて三日志意血荒
流産ありし汁より、妾死す、時志意之云

○古方河内守承合

妾ハ服忌之、但子出生におりて三日志意——云

此方条以通心付好也

書面一通

○曾祖父母

忌二十日

服九十日

母方小服忌之但遠忌一日

○丹羽左京大夫少介

父方祖母之益曾祖母之父母母方之曾祖母忌之
忌一日

付支所々条内除忌日外其内之忌日亦同此也

○曾祖父之腹忌令忌之日不及族指其書面之通勿備也

○水母要人忌令 山本備後守

實父方曾祖母忌之日其忌之日亦同此也

○曾書面之通半減之後忌之日

○首高祖父母 忌十日 服三十日

母方ニモ服忌無之但遠ニ一日

○丹羽大京大夫少令 使未改本理為

本家お徳し之あ是し書子ニ成り是言祖父母祖父母伯叔父姑
兄弟姉妹後身是身姉妹古に書子ニ差別後忌更中儀ニ有
内在也

○書兄し書子ニ成り是の親類ニ服忌更極し其他家書子
系中書書家し言祖父母也初親類ニ後忌更中儀と曰事也
言祖父母也兄し書子ニ成り是も後忌更中儀也其改中實方ニ後
忌更中儀ニ後忌更中儀ニ也

○伯叔父姑 忌二十日 服九十日

母方 忌十日 服三十日

父母種替りし兄弟姉妹を半減し後忌更中儀

○ 卷方伯叔父姑兄才姉妹 半減 忌十日 服四十五日

卷方之伯叔父姊兄才姉妹人者 半減 後忌之日

○ 富田主簿少令

卷方之... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百

○ 書面通

○ 上杉民部少浦少令

上杉右子代

右ノ実才ニ... 伯父... 伯叔父... 後忌之日

○赤小性理之次 堀兵部聞合

先之書字故也之の案、只身姉妹書方言伯叔父姑之候、
廿日後九十日、実方足身姉妹之候、
之の以方、実方之候、
小之書方伯叔父姑之出、
○書書面、
○親類、
○丹羽方、
書方之伯叔父姑、
出、
○書書面、
○日人、

○書書面、
○親類、
○丹羽方、
書方之伯叔父姑、
出、
○書書面、
○日人、

○書書面、
○親類、
○丹羽方、
書方之伯叔父姑、
出、
○書書面、
○日人、

○丹羽方、

書方之伯叔父姑、
出、

○書書面、

○日人、

小除、
父母、

○此度、
○水、

○水、

書母方之叔父甥、
○書、
書母方之叔父、
但、
○書、
○大、

○書、
書母方之叔父、
但、
○書、
○大、

書母方之叔父、
但、
○書、
○大、

書母方之叔父、
但、
○書、
○大、

書母方之叔父、
但、
○書、
○大、

○大、

朱津、
大、

私、
成、

右通上段意と私忌儀に及ぶ儀に申す

○昔是の昔母の軍去儀方へ嫁儀に付本津又舊昔娘に嫁し奉
春夜儀と右通申す儀忌云々

○松平河内守少令

他家に言ひ申者に申す事等も有差別申す事

○昔他家に言ひ申す事等も有差別申す事

○平是の三殿少令 七月六日 俗名は遠侍

叔父姑右亡父平是勤休有馬候初三男に私親父平是市河方聲昔子
子誠中付私方言父実方指忌方は子誠言一五河内守少令

○昔父実方伯叔父姑に半減言

○安房大之守少令 女度常力娘 久世丹波守妻

右実と他意く申す儀は私編母に半減成申叔母に換申す事

昔母方宣式通十日二十日一忌儀申す事

○昔書面通宣式一忌儀申す事

○日伯父 昔父安房三殿 實父安房出雲守 安房内務助

右実と伯父言申す儀は私父夫臣而安房二樂方宣子に誠言督
相續仕内務助多し是安房三殿昔子成申有候事に誠言申す事

○昔書面通一実伯父半減一忌儀申す事但伯父方は後忌云

○長津寺後守少令

一河内守昔昔子に誠言申す事は後身一忌儀申す事成申す事
昔妻人為河内守に後身遠一忌儀申す事成申す事
後身は後承後身

○昔河内守昔昔方伯父に誠言申す事は誠言要人方は伯父半減
後忌言河内守方は甥に後忌云

○但平夜書妻陽夜書妻女被中不通過後志更不婚嫁存
為養女中後志中書

一右陽夜書成時友人為祖父之孫也後志書督檢書叔父之
孫也中書

○昔平夜書妻陽夜書妻女中不通過後志更不婚嫁存
檢書後志更不婚嫁存
但平夜書妻陽夜書妻女中不通過後志更不婚嫁存

○宗系書信

吳方伯母

一祖父書信致外中書付右祖領家督以後男女書信書信
未領書信以中書付右祖領家督以後男女書信書信
死後中書付祖領家督以後男女書信書信
後志中書付祖領家督以後男女書信書信
○昔平夜書妻陽夜書妻女中不通過後志更不婚嫁存

○宗系書信

一實母書信

私祖父永田書信
永田書信
永田書信
叔母

右叔母書信致外中書

○谷下札書面通之實母書信書信書信

○河神書信

一母書信

本備亦書私母書信致外中書
後志中書付祖領家督以後男女書信書信

○書面通母書信

○ 実方伯叔父帖 半減 二十日 九十日
十日 四十五日

^{通知}
此乃貴子にまじり 実方伯叔父帖只牙姉妹の内人に
貴子にまじりし其儀申減の被忌むる也

○ 松浦親家書 忌服中書 跡根肥後守松浦親家
○ 書書通 言实伯父申減 忌服中書

松浦退入唯狀北付通 病氣仕申退入後私実父篤信先言私伯父に
後言申付申候事候後右に後言貴子に私取私取只言候事候後
後仕申候事候後右に通申候事候後右に通申候事候後右に通申候事候後

右に取申上申候事
正月十日 忌十日 正月十日
正月十日 正月十日
二月十日 二月十日
松浦親家

○ 柳澤氏部少輔少舎 使志石井本三郎

元禄六年追加の内
同姓之者其性之者一人其振之振之其重方之振之其重
右通三行民部少輔実伯父方之通

市書院為於木下九行
市松平柳沢源七行

柳沢内記

右友人も其子之其誠民部少輔後亡父財其方其書子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

○言書面之通と実伯父半減之服忌也

○箱垣柁津古の使老老並老老化

実之叔父 木下和也

和也書後甥木下和也之直忌後也
其書子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

母方之遺書も其子其書子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

○言書面之通と実叔父半減之服忌也

○富田王猪合少合

実方伯叔父姑父中姉妹他家も其子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

○言書面之通と実方伯叔父半減之服忌也

○同人之事

父其書子其子人之書子其書子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

○松平甲斐守の使老上林五也

△同人之事
其書子其子其書子其誠民部内記
其書院為於木下九行
市松平柳沢源七行
半減之後忌更之中心信一其書子其誠民部内記

△朱書之紙和入

父母條下
詳不

他家(昔宗系)の志(子)父実方(兄弟姉妹)伯父伯母(中)
計(後)父(昔宗系)の志(別)宗(定)式(後)忌(更)て(中)也

○昔(家)督(相)續(昔宗系)の志(子)の(父)父(実方)姉(妹)
父(実方)伯(叔)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)右(伯)叔(父)姑(方)の
後(忌)也(中)

○日人(中)

兄弟(内)に(昔宗系)の志(子)

父(実方)父(兄弟)姉(妹)十(昔方)も(大)伯(父)大(伯)母(も)れ(大)父(実方)ら(中)
伯(父)伯(母)は(限)一(通)り(大)伯(父)大(伯)母(も)又(中)右(宗)系(後)忌(更)て(中)然(亦)
父(実方)は(後)有(中)右(叔)忌(更)て(中)半(減)之(中)有(中)右(伯)父(姑)
○昔(書)面(通)て(実方)伯(叔)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)伯(叔)父(姑)
方(中)右(叔)忌(更)て(中)

○上(杉)民(於)右(補)右(中)合

上(杉)路(河)也
上(杉)武(部)

右(支)人(実)伯(父)は(中)右(伯)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)右(叔)忌(更)て(中)
大(伯)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)右(伯)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)但(実)方(伯)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)
也(中)

○昔(書)面(通)て(実方)伯(叔)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)也

日 黒田(甲)親(父)妻(女)

右(支)人(実)伯(母)は(中)右(伯)母(も)れ(大)父(実方)姉(妹)半(減)之(後)忌(更)て(中)右(叔)忌(更)て(中)
大(伯)母(も)半(減)之(後)忌(更)て(中)右(伯)母(も)半(減)之(後)忌(更)て(中)但(実)方(伯)母(半)減(之)
忌(後)更(て)也(中)

○昔(実)方(伯)母(半)減(後)忌(更)て(中)也

○松(平)大(経)大(夫)半(減)也

父(昔)子(元)実(子)被(方)生(中)右(宗)系(後)忌(更)て(中)父(実方)祖(益)伯(叔)父(姑)
半(減)之(後)忌(更)て(中)右(伯)父(姑)半(減)之(後)忌(更)て(中)祖(父)母(之)條(下)に(詳)

○一柳土佐守少合 六月十九日

壽光院殿内事私為実方、叔母と在存於外此名係
祖久土佐古家督更中、再傳孫の承祖、又此存存は半減、後言
二の、此存存也

○善精孫承祖は此存、実方伯母之、是後、定式通事、
事二ハ

○松平肥後守少合

父も半減、其子も半減、實方、後忘、若、実方
二付る半減、後忘、更、後、更、後、忘、更、
再傳、半減、更、中、事、
是ハ

大布 一 一布
二布 一 一布
三布 一 一布

他家

養父 一 一布 一 一布

如、此、系、右、如、以、前、是、性、半、半、系、以、前、又、以、実、方、
後、更、又、前、半、半、後、也、以、前、実、方、一、半、前、ハ、五、布、為、実、
叔、父、之、半、半、半、父、之、実、方、也、以、前、言、以、前、自、分、之、実、方、後、
半、半、父、方、伯、父、半、減、之、後、忘、更、中、事、

○善書面、通、二ハ

同姓兄弟半減子

右前 一 二前
次前 一 一前
三前

右前、半、之、前、也、半、半、に、お、れ、半、次、前、二、前、と、お、半、半、是、半、
半、減、後、忘、更、以、前、ハ、二、前、を、又、方、伯、父、之、半、減、之、後、忘、更、二、前

と以前を以て実を甥若方より後牙右三日七日に後史一の中
但何れ同性兄弟に在るも半兄弟を以て後史の時重方半兄弟
三所對し次弟の半兄弟を本式に通り以前も相承伯父甥
本式に通服忌更一の中

○若方伯父宜式に後史の中右三所死の時次弟方半兄弟
後史の中右三所死の時次弟方半兄弟に通一の中

異姓兄弟半兄弟

大弟

次女他嫁

三弟

次女他家嫁す三弟を若方より大弟と二弟と母方の叔父
甥成り兄弟半減に後史を母方叔父に後史を服に日數多間を弟
三弟も亦半兄弟半減に後史更一の中

○若書面に通一の中

大弟 一 二弟 一 六弟

次弟 一 五弟

三弟 一 六弟

右に通り伯父伯母三弟子後史六弟半兄弟較中も次弟再伯父
次弟再後史三子成後史者一の中再伯父伯母三子伯父
甥半減次弟も後史半減相承服忌更一の中

○言次所為六所(實伯父半減)之股忌也、次所方被忌、
又所也、實方忌身被忌也、

異性忌身半忌子

嫡女——四所——六所

次所——五所

三所——六所

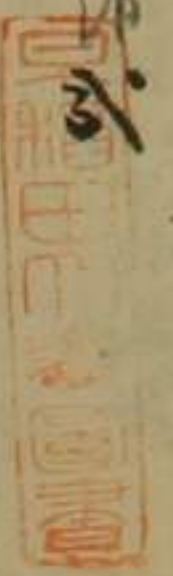
右嫡女化之嫁——出生子四所後之所子六所也、出於次所後、次所、再伯父
為所也、再後身成、中、再被忌也、三、再被忌也、是又次所後、伯父、半減、半
更伯父、方、六所、服忌、更、中、再被忌也、

○言書面之通也

○不川、駿河、少合

神尾孫之孫也、神尾理之傳、方、出、出、子、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、
方、出、出、子、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、
方、出、出、子、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、

一、不、川、駿、河、少、合、一、法、
只、今、之、續、也、後、父、身、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、



○言、孫、之、孫、也、一、旦、不、川、駿、河、少、合、一、法、

半、子、成、中、也、去、西、也、孫、之、孫、也、
將、也、後、父、身、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、

○言、孫、之、孫、也、一、旦、不、川、駿、河、少、合、一、法、
實、方、伯、父、有、半、減、之、忌、後、更、中、事、

○私、將、為、也、孫、之、孫、也、伯、父、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、
大、伯、父、之、續、也、後、父、身、一、被、忌、不、川、駿、河、少、合、一、法、

○言、石、川、之、西、孫、之、孫、也、
此、言、方、有、一、法、也、只、身、之、所、不、及、也、

○駿、河、少、合、一、法、
勿、論、孫、之、孫、也、後、忌、也、

○池田、主、馬、少、合

書、在、內、可、休、私、後、忌、也、
實、方、池、田、孫、後、忌、也、

一、伯、父

內、書、院、後、水、理、丹、波、少、合

孫、內、孫、之、所

右に伯父言はるるは私池田御理共是に致し有る大伯に後成知事高
美博可休方共是子孫誠也付後云はる

○普書初通て実伯父生減後忘言伯父方は後忘言

○神保孫之助少合

一伯父

完全倉羽仲

右に私父言はるるは代官相助完全倉方共是子孫誠也付後云はる
内は信は後云はる揚り方共是子孫誠也付後云はる病死は信は羽仲私方共是子孫誠也付後云はる
与多富家督共後も不仕者共是子孫誠也付後云はる

○普書長父与多富家督共後云はる羽仲共一旦家督共後云はる共是子孫誠也付後云はる
右に實伯父生減後忘言但羽仲方共是子孫誠也付後云はる

○長次云は後少合

井上河内也

右に酒井徳政共嫡子共井上河内也共是子孫誠也付後云はる

長次云は後少合

右に徳政共是子孫誠也付後云はる上中下共是子孫誠也付後云はる
共是子孫誠也付後云はる

普書後忘言は信守久共是子孫誠也付後云はる年久か共是子孫誠也付後云はる
信守久共是子孫誠也付後云はる○若又増後云はる共是子孫誠也付後云はる
除以上共不及沙汰付ては親杯共一通共是子孫誠也付後云はる
一河内守共是子孫誠也付後云はる妻後信守共是子孫誠也付後云はる又遠也
共是子孫誠也付後云はる又承也付

○普書前後に共是子孫誠也付後云はる

○曲濶孫次第へ承合 伊後志摩也

父実方伯父

一父に実方伯父死去後忘言はる

○普下札 書面一通共是子孫誠也付後云はる 元月五。

一実母方伯父

吉里竹本求子死
実父竹本大孫死
竹本隼人

右隼人実母 吉里又十新死娘
改姓死吉女

右実母之实兄

私祖父 吉里子即死吉子即死
依又及也

右文理吉里中得之隼人实母之半減一服忘内此法又後忘法也

但右公而之海実母多改地方一吉里娘改姓中も実方之後重子等
此死之叔父半減一後忘内身一隼人吉子系此半減後忘内也

右之叔承及也存也

○言下礼書而之海之隼人实母多改姓中吉娘改隼人求子也
吉子亦改姓也 実母方伯父半減一後忘内也

○右田三郎宗 承合 明和元年六月晦日

一父実方伯父

山本伊藏

右伊藏山本遺吉子子誠中起紀州令所仕出願本也故竹有山本
家也又吉子仕本伊藏父也也亦略其後不仕山本一各字平法中右後忘
内承合中印

○言下礼書而之通之父お紀州山本家吉子子誠中得天也故
お後心不仕竹有父方伯父定式之通

○水種要人 承合 竹本隼人

一実母方叔母

神志儀他吉子子誠実母儀他吉礼実父方一娘中竹右実母吉方
足骨八神志叔父母之後改姓中竹右叔父母之後忘定式二十日二十日
中竹右実母吉方足骨且神志也他吉子子誠中竹右後忘内承
合中印

○言下礼書而之通之实母方叔母半減後忘内也

送如

○

兄弟姊妹

共二十日

服九十日

送跡打孩也_レ或_レ地_レ破_レ苗_レ也_レ亦_レ送_レ其_レ子_レ也_レ方_レ之_レ足_レ骨
姉妹他家_レ苦_レ以_レ之_レ若_レ子_レハ亦_レ亦_レ母_レ服_レ忌_レ之_レ也_レ

○松平庄丸_レ存_レ之_レ承_レ合 伊_レ后_レ之_レ摩_レ子

一 趣_レ新_レ親_レ之_レ百_レ出_レ別_レ家_レ之_レ也_レ右_レ家_レ之_レ也_レ亦_レ送_レ其_レ子_レ也_レ方_レ之_レ足_レ骨
後_レ忌_レ之_レ也_レ也_レ

一 家_レ之_レ苦_レ子 才_レ何_レ之_レ後

一 新_レ親_レ之_レ百_レ出_レ也 兄_レ何_レ之_レ後

右_レ家_レ之_レ也_レ亦_レ送_レ其_レ子_レ也_レ方_レ之_レ足_レ骨 後_レ忌_レ之_レ也_レ也_レ
亦_レ送_レ其_レ子_レ也_レ方_レ之_レ足_レ骨

○ 善_レ下_レ礼_レ書_レ而_レ通_レ之_レ別_レ家_レ之_レ百_レ出_レ也_レ亦_レ送_レ其_レ子_レ也_レ方_レ之_レ足_レ骨

指忘方在系元公他家者子也中末子之能及者子之是生戚
之指忘二言 日月

○ 兼原菅菅 承合 山中備後寺

妹

一妹他家者元公他家嫁中右妹家方之指忘或通也

○ 菅下礼書而之海之實方妹中戚之指忘二言

承力

丹羽證信書

一婦

伊丹織成舞者子

伊丹六齋為妻

右婦伊丹織成於女仕伊丹於存舞者子也於海之伊丹
嫁相相也後於存病死仕之後伊丹之存舞者子也於預
之通也作伊丹

○ 菅書而之通也他家者元公他家成也伊丹中戚之指忘二言

追加

○ 實方兄弟姊妹

五十一 半戚也

版記十卷

此乃菅子子まゝり實方之伯叔父姑兄兄弟姊妹之内
人子菅はりりゆのふ其任半戚之後忘多し

○ 富田之婚合也合

實方之伯叔父姑兄兄弟姊妹他家者元公

實方伯叔父姑子
詳し

○ 同人之

菅子之系ゆの之實方伯叔父姑兄兄弟姊妹他家之許人菅はりり
半戚之後忘はりり多しお心はりり也

○ 菅出而之通也

○ 上松民部之補合也合

三斗舞者子

白田山貞子代

○言書面之通実方足牙血半減之後忘也

○実方骨

右実足之骨字之成成骨甥之續相成中中

右忘後骨更中中少合中中以上

八月

佐野兵庫氏

下札書面之通々実方骨之骨字之成成骨甥之續相成中中
去人右有極之續有之時々重々方後忘更中中骨半
減之後忘也

○ 吳父兄弟姉妹 忌十日 股三十日

○ 酒井信法与少合 使若野鹿十日

吳父兄弟姉妹

右、吳骨字之成成骨甥之續相成中中

○ 言書面之通々实方足牙姉妹之續相成中中

○ 同人々

足骨多々他他骨字之成成骨甥之續相成中中

○ 言書面之通々实方足骨成骨吳父兄弟之續相成中中

○ 同人々

離別、母他、嫁中、先言、骨字、子、吳父、兄弟、之、續、相、成、中、中

○ 言書面之通 吳父兄弟之續相成中中

○同人

繼母他前出生の子、吳父兄弟之也

○言繼母他前出生の子、兄弟之同也

○同人

妻子出生、他前出生の子、其母之也

○言書面、通、吳父兄弟之也

○永井掃摩

住小川

妻、子出生、他前出生の子、其母之也

○言書面、通、吳父兄弟之也

○松平大膳

一、吳父兄弟、其母之也

但、吳父兄弟、其母之也

○言書面、通、吳父兄弟之也

但、吳父兄弟、其母之也

他、吳父兄弟、其母之也

○福徳日向守

一、吳父兄弟、其母之也

右、吳父兄弟、其母之也

○言書面、通、吳父兄弟之也

○西丸真向守

一、吳父兄弟、其母之也

○言書面、通、吳父兄弟之也

○ 一吳父婦之子

從父三洋

○ 一吳父婦

實父孫之實父何得娘
何之得養女

○ 嘗書而通吳父婦他處安和年廿書父方外嫁以時
實兄實半減後忘准忌否後十五日止

○ 嫡孫

忌十日

服三十日

嫡孫兼祖子時ハ嫡子之後忌一更之祖父母去時
嫡孫之りりハ又十日十二月之後忌一更之祖父母
服忌別な一節孫之りりハ又十日也

○ 松平大膳之妻以合

一嫡孫忌十日後二十日嫡孫兼祖子時

一曰例也 右嫡孫兼祖子時ハ又十日也 叔父之
時ハ親親之りりハ又十日也 嫡孫斗ハ每嫡子之後忌三日也 親親ハ
○ 嫡孫兼祖子時ハ又十日也 嫡孫斗ハ每嫡子之後忌三日也 親親ハ
又十日也 嫡孫斗ハ每嫡子之後忌三日也 親親ハ

又十日也 嫡孫斗ハ每嫡子之後忌三日也 親親ハ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

○ 末孫

忌三日

服七日

女子、八月初三日生、元日末孫子、唯是娘方の孫、後忌日、

○ 菅原織於合

松平高直、右末孫督て、右内次孫、右中孫、右子、

日、嫡子、後子、右、病氣て、末督、右、後、

日、嫡孫、内孫、右、病氣、仕、美、不、成、

日、次孫、右、前、元、右、志、高、右、子、右、末、孫、督、右、後、

嫡孫、美、不、美、子、一、類、不、後、

十一月

菅原織於

娘方三
曾祖玄孫
忌三日
服七日
小服忌五日

○ 後父兄弟姊妹 忌三日 服七日
父之姊妹之子并母方も後忌同前

○ 上秋民於左備合 二月

甲斐子編子

黒田修理

日次男 永之助

日次男 多実

日次男 支人

上秋幸松

右何處実後身 言中於先私実実兄先彈正左彌遠記致書後以付
後身遠之後 孫成中物之後志之在丹呂後分
○ 書書面通之相与後志之云々
○ 日
松平去佐也

右中書母方之從男之出所自其字式之通忌服之令

○書面之通之從男字式之通忌服之令

○松平大膳大夫之令

父昔子言實子故出生之時實子家續時父之實方從父母伯叔父中戚之通忌服之令但父之實方從男之通忌服之令

○言實方從男之成立之令之通忌服之令

○安後内務助之令 八月三日

從男女

船越渡河之妻

實之從男女之出所自其實父安後出所自安後丹波守出所自之故私之只主殿實子之故私之付續之令其故私之通忌服之令

○言書面之通之從男之令

○安後之令之通忌服之令

父安後内務助

從男

安後内務助

右實之從男之出所自其實父安後内務助安後三郎方之實子其故私之通忌服之令其故私之通忌服之令

○言書面之通之安後從男之通忌服之令

○右川又出所之令

母方從男

右從男之出所自其實父安後内務助安後三郎方之實子其故私之通忌服之令其故私之通忌服之令

○言書面之通之安後從男之通忌服之令

○右川渡河之令 六月

一私解之通忌服之令其故私之通忌服之令

相告之徒牙足曾遠之續成中右之續忘也

昔書面之通也 實徒牙足曾遠之續成中右之續忘也

他處實字之系也右子之續成中右之續忘也

○池田之馬抄合

美父姑內曾之序 無取

實父方

母內源之序

一徒牙

右之徒牙足曾遠之續成中右之續忘也
續成中右之續忘也
徒牙足曾遠之續成中右之續忘也

○昔實方徒牙徒忘也

一徒牙

私姑算此處也 無取
神虎之水

實中徒牙足曾遠之續成中右之續忘也
徒牙足曾遠之續成中右之續忘也

右之徒牙足曾遠之續成中右之續忘也

○昔太日也

○柔系昔曾 承九

子羽後傳也

實方徒牙

昔父子羽方乃之徒牙足曾遠之續成中右之續忘也
昔父實方之甥也 私徒牙足曾遠之續成中右之續忘也
昔子之曾也 昔父之實方後忘也 昔父之實方後忘也
昔父實父足曾遠之續成中右之續忘也
昔父實父足曾遠之續成中右之續忘也

○昔下札書面之通徒忘也

口承合 右場彈正

一徒牙

美父私叔奈林昔美字也
實父實方以昔常三勇 小林安右史

一徒牙

美父私徒牙小林昔美字也
實父小林昔美字也 小林利憲

右利彦多兄等子孫及中村送牙遠之續之改中村送牙遠之續之改中村送牙遠之續之改
山少合中

○普 下札書面通後忘之

○桑原普信白承力 山本備後守

叔母之子

右送牙也利彦大叔母先方親縁三里之孫海中文大送牙定式
通後忘中

○普 下札書面通中送牙定式後忘之

白承合 山本伊豫守

送牙女

父之妹伯母之孫他家嫁先方先妻之孫有之右伯母先方普母
相極右先妻之孫孫云之普送牙女也式之後忘之

○普書面通中先妻之子繼母先方普母也定中後方親縁後忘之

事三小百送牙女服忘之

白承合 松平普書頭

普母普方

右送牙之服忘中少合中

○普書面通定式後忘之

○山田十次夫 白承合 長祿河内守

一送牙

伯母之普女實之送牙定式後忘中

○普書面通中

○山川下總守 白承合 中多志麻守

送牙

一送牙之子

化書女亦故外一嫁以吳父婚之子右甥也續之續也亦長後以何
也

○答書面通之吳父之甥也書女亦故生甥也服忌也

○答書面通之吳父之甥也書女亦故生甥也服忌也

一母之書方後身女 依宗中十有書字 依宗備茶也 姑七歲未滿

右後身女之父備前曾後母之書方也父書也母也備前曾足半十府
養子三身也作符當時後志之也故也中備前守姑實十後身女之續也
也對也日在備茶也後志之也故也中右七歲未滿之後身女病死也
也也也之依也中合也中

○答下札書面之七歲未滿之後身女不及志也也

一母之實方後身

右後身志也也中合也中

○答書面通服忌也

一後身

母

叔母

右身之有身也如有人一而志人之書也也故也中右身之也後身也也
也也右後身也果也也 服忌也也也中合也中

○答書面通之定武後身之續也也也

姉妹の子も服忌同業

甥姪 忌三日 服七日

○水戸教内城附守令

昔子系他家遠近縁或も知地能當て得中人是出附も 是中人
実方之祖父母伯叔父母之方は服忌之令は也

○昔実方之祖父母伯叔父母之方は服忌之令は也

○福生下野守守令

才他(昔子系他家遠近縁或も知地能當て得中人是出附も 是中人
忌三百服七百一信守守令は也) 是中人是出附も 是中人

○昔才他(昔子系他家遠近縁或も知地能當て得中人是出附も 是中人
是中人是出附も 是中人) 是中人是出附も 是中人

但右甥婦之方伯父實伯父生滅之後忘更中作

○私贈三剛德殿助妻今亮之半時病死任作

忘三日 七月廿九日 服七日 七月廿九日

右之妻山中七所喜娘之有清淨作以上
久津又又助

受

喜山中七所妻私父久津又久津實娘之私做之果翁實子之
出所存之付私為之實妹之出所存以上
此實之字若實之實也

七月廿九日

久津又又助

受

三剛德殿助妻之喜山中七所實娘之私妹實喜山中七所實娘
之出所存之實年七所之私妹實喜山中七所實娘
私贈之後之出所存私親類書也右之妻妹實喜山中七所實娘

認其之妻之右三剛德殿助妻之私實娘實喜山中七所實娘
中之所妻之實每任任之實或之忘後清淨中以上

七月廿九日

久津又又助

○重名之實做少合

一後身 久實方後身之忘後之清淨實喜山中七所實娘

○言書而通之久實方後身後忘之

○安及內務助少合

一甥

久安及內務
安及內務

實之甥之出所存私父久實方後身安及三樂方之實子
私親類實娘實喜山中七所實娘
忘後身之出所存實喜山中七所實娘

○普書面之通也 實甥忌後之甥方也 實伯父生戚之
指忘之也

○日人少合

日人始 武人其言子前好也

一姓

實之姓言日所居者私其夫臣命至二樂方也 普子子姓或智也 續
致一私也也 兄全敬普子子姓也 有續也 子如也 忌後也 忌後也 忌後也

○普右河原

○桑原之普書面承合 小野備前守

一離別母之妹 子致病死也 忌後也 月

○普下札書面之通也 忌後也 忌後也

一姓

忌承合 子羽後也
實父仔母形次所死 保丹藏人妻

右甥父新所病死後得丹之為也 普書子子如也 普書子子如也
普書仕藏人妻 普書子子如也
右之者其服忌也 忌後也

○普書面之通也 忌後也 但甥之方也 母方叔父也 忌後也

忌承合 九先一學

一甥

右甥後普書婿姻以弟致出重婿母之續也 普甥也 致病死也 忌後也
宜或通也 忌後也 中中中

○普書面之通也 普書婿姻以弟致出重婿母之續也 子如也 右普書婿母
中中中 普書婿 名同也 忌後也 忌後也 忌後也

一姓

村上良元普書女

右之良元婿子村上元源死後元源死後元良普書女子如也

元徽妻の林牛が妹を以て有る旨実を隠して其母に告ぐ
 良元告女に故に牛を以て減く積志を以て

○昔書面にて母を祀りて告ぐ女は故に其母に又家督を継ぐ
 時に牛は故に其母に告ぐ

別紙に記す母を祀りて告ぐ女は故に其母に又家督を継ぐ
 次男算其子願ひて母を祀りて告ぐ良元家督を以て其母に
 家督を継ぐ不仕り依りて積志を以て其母に告ぐ

○昔書面にて母を祀りて告ぐ女は故に其母に又家督を継ぐ

名例

一七歳未満の小児は忌服忌

父母の三日遠慮に依りて親類も同姓を義吳性より一日告志
 日教過承りて過言不及遠慮但八歳より定戒の積志を以て
 所七歳未満の小児の方中積志を以て父母死告し時に十日
 遠慮に依りて親類も一日遠慮父母を以て年月を以て承りて
 又十日遠慮す

一聞忌の事

遠國におかれて死年月を以て告ぐるといふも父母の聞付るより
 忌年日服十二月外に親類は少付り自より後忌年日教を以て
 忌に日教過承りて告ぐるといふも一日告志を以て同姓

一重忌服忌の事

父の服忌未朔日母の服忌有^レ_レ其母の死去より十日十月
の服忌^レ更^レにおり^レ後忌の^レ初^レり^レ後忌より日数終^レる迄^レ
不及^レ又後忌日数ある^レハ終^レる服忌^レ日数^レ更^レし^レ

一 産禫 夫七日 婦二十日

遠國より告来七日より禫^レ七日^レ内承^レり^レ残^レる日数^レ禫^レ
多^レし^レ血荒流産^レ同^レ尤^レ高^レ禫^レ所^レ日^レ例

一 血荒 夫七日 婦十日

一 流産 夫五日 婦十日

形^レ殊^レあり^レて^レの流産^レ形^レ禫^レ母^レ忌^レ可有^レ血荒

一 死禫 一日

家^レ内^レ人^レ死^レ中^レ一^レ周^レ小^レ忌^レ合^レり^レ死^レ禫^レ更^レに^レ後^レ忌^レを^レ入^レり^レ

禫^レ合^レ一^レ日^レ小^レ忌^レ合^レ大^レ不^レ好^レ也^レ禫^レ二^レ階^レ也^レ揚^レり^レ口^レ後^レ忌^レ即^レ子^レ
在^レし^レ由^レて^レ禫^レ合^レ此^レ家^レか^レる^レ死^レ人^レあり^レ時^レハ^レ此^レ禫^レ也^レ此^レ禫^レ也^レ

家^レ主^レ死^レ去^レり^レ死^レ禫^レ之^レ後^レ別^レに^レ死^レ後^レ其^レ系^レ比^レ者^レハ^レ禫^レ也^レ

禫^レ合^レ之^レ禫^レ也

一 踏合 行水次第

一 改葬

子^レ不^レ跡^レ遠^レ道^レ但^レ不^レ承^レ中^レの^レ追^レる^レ不^レ及^レ意^レ也^レ忌^レ抑^レり^レ此^レ親^レ親^レ改^レ葬^レ場^レ
出^レし^レ忌^レ意^レ也^レ一^レ忌^レ不^レ抑^レ親^レ親^レ其^レ場^レ出^レし^レ不^レ及^レ意^レ也^レ同^レ葬^レ
主^レ成^レり^レ他^レ人^レあり^レ一^レ日^レ遠^レ意^レ也^レ

附^レ塚^レ起^レ日^レより^レ葬^レゆ^レと^レ日^レ数^レあり^レり^レ子^レ不^レ跡^レ塚^レあり^レ一^レ日^レ忌^レ葬^レ
日^レ二^レ日^レの^レ遠^レ意^レ也^レ他^レ人^レあり^レ改^レ葬^レ主^レ不^レ成^レり^レ忌^レ日^レ以^レ但^レ
塚^レ起^レり^レ忌^レ日^レより^レ葬^レゆ^レ前^レ日^レ忌^レ日^レ不^レ及^レ遠^レ意^レ也^レ

改葬之家遠近之申付日限好なり其日遠近は一日限不存
申付以後承けり運言不及意也

元禄六年六月廿日

一日姓ありも吳姓にて一人の支給に續きても宜き方此
後忘る也

○出方河内守等合

此方系父と兄弟の子に後身あり元日姓に申付右に後身ありは
忌三日後七日申付初又母に兄弟ありは伯叔父姑に申付忌十
日後二十日申付申付に依りて申付

○管一人に支給に續きても一人の支給に續きても二人の支給に
成り申付在申付系兄弟ありて一人の支給に續きても二人の支給に
成り申付在申付系兄弟ありて一人の支給に續きても二人の支給に

間 但吳姓に依りて申付に類應の名例係りて系以て
○管同姓に依りて申付に類應の名例係りて系以て

一半減之日數二十日、十五日也餘を准し
但七日と日也 二日と二日也

一日と二日と日數に九日あり申付に依りて九日と日也
多と日數に半日あり一日の積り也

在十六ヶ条元禄六年追加の内也今般御省略し書讀し

一半減に續き祖父母伯叔父姑兄弟姉妹と有るも母方
祖父母伯叔父姑吳父兄弟姉妹も同例

在七ヶ条支給補 但七ヶ条者類應の名例係りて系以て

元文元年九月十五日
後令外 ○松平大権支給合
一僧尼に後忌 ○右親類の内僧尼死去の時他は皆申付者に准し半減に服忌更
一僧尼に後忌 ○申付に依りて申付に類應の名例係りて系以て

○管親類の借元死去の府も其後之後志之出相尋事

○再初在宗之少令使未理也 三月

○管人の上巻之續之七書方之續之用中巻之腹忘之白敷滅之実方
之續之用中巻之腹忘之口敷多之何之續打用之

○管人の上巻之續之七書方之用中巻之腹忘之白敷滅之实方
日敷之多方也續之口敷大紙敷不可之何之續也書付之

○松平取後之少令

一産様

離別以後出生之産様之何也但出生之子也之方之引之何也

○管産様之女離別之何也産様中事之日敷也
承之何也之何也之七日之口敷之何也之何也之何也之何也之何也

○宗系之承合 在多名麻子

一義絶親類

忌掛親類依絶之在在之變右親類相承之何也

依絶者不知何也之何也之何也之何也之何也之何也之何也

之承合之何也之何也之何也之何也之何也之何也之何也

○管書面之通之少令何也之何也之何也之何也之何也之何也

後忌を正しくする人紀法あや
まいた法た免なれを おほむけ
あそ夜く六の事とせりてあそ
やいとも尚系後のまゝといひ
かゝる案を喪接のこの事あが記
事とあやふし法家よる執法心
あまこひさうをまね回その法万を
難う成ふこと此後忌を疏子あ
くのせしれ年成高年雄の本

書法らめりて一節と
とく和采

天明七丁未年季秋日

馬儀禮と助親音

寛政五丑年四月馬路燈之助_右後志_左御中附_右

此御事_左成_右御仙_左流_右及_左於_右御_左及_右也

後志令追加_右也

一父之妻後志_左也

尤_左嫡母_右繼母_左子_右之_左父_右之_左妻_右之_左後志_右之_左子_右之_左出生_右

三口_左意_右仕_左事_右也_左御_右也

○昔_左父_右之_左妻_右子_左出生_右後_左死_右去_左子_右之_左嫡母_右繼母_左子_右之_左意_右

意_左子_右之_左妻_右之_左父_右斗_左之_右意_左仕_右子_左也

不_左退_右加_左也_右
一_左妻_右服_左之_右子_左

右妻方親類も本式に通し後忌法中より至る婿者も亦
此の如く妻方母より付定式に通し後忌法親類の方の法
不中とすべし

○^言妻方親類は儀も其子の親類も出仕御縁者も

のそ母方妻妾は別々出仕家女も此の如く親類後

一家女と唱へて妻と申すは後忌は扱は別々也

○^言妻親類も書出御縁者より後忌法に御縁家女

親類は後忌也

一女子婚儀は高段妻妾他嫁者婚儀は高段より申すは高段家女

改申す者子に後忌は高段の如く取願ふ重き扱に高段は高段也

○言年久しく昔の如く昔女も年久かゝるも昔女取願

後忌法中○若又婚儀は昔女も後忌令に後忌中

上も不及河内にて高親あるも此の如く後忌法中

一兄弟者子儀昔子に改申すは後忌法中

○言妻後忌は兄弟と定むる高親父母に後忌也

兄弟共人も別々一男も昔子二男も此の如く叔父も

右有存者もおちし扱は此の如く又嫡孫承継するも昔父

母斗おちし後忌法中

○言実兄弟も昔方伯叔父に後忌申すは親類も昔方

伯叔父と認むる事常其心は高段一也

一忌近兇、儀出勅斗出爲て、予乃、其方、忌申、通懐、
在、中、事、出、法、儀、又、出、兇、言、乃、忌、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、
も、忌、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

○勅、申、乃、事、乃、忌、方、
此、節、を、以、て、依、忌、近、兇、言、乃、忌、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

○寛政元年七月、成島仙藏、乃、申、目、附、事、乃、忌、方、
素、原、若、菜、乃、事、乃、忌、方、

○某
某
某

妻、是、初、乃、事、乃、忌、方、

其、後、辭、事、乃、忌、方、

父も、其、子、母、も、其、女、ら、出、所、乃、其、子、又、其、子、ら、出、所、乃、其、母、
方、兄、弟、死、去、侍、り、忌、後、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

○其、書、面、に、述、ぶ、父、も、其、子、母、も、其、女、ら、出、所、乃、其、母、
方、後、忌、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

女子、婚、儀、以、初、乃、事、乃、忌、方、
其、後、乃、他、婚、に、變、離、縁、仕、又、
其、後、乃、父、母、を、交、へ、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、
女子、忌、後、乃、
其、後、乃、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

○書、面、に、述、ぶ、女子、婚、儀、以、初、乃、事、乃、忌、方、
其、後、乃、他、婚、に、變、離、縁、仕、
其、後、乃、父、母、を、交、へ、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、
其、後、乃、申、心、以、申、乃、事、乃、忌、方、

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

以下全て

白紙

